



第6回受賞作品

平成4年度



グリーングラナコバヤシ (賃貸)

鉄筋コンクリート造7階建て18戸の賃貸集合住宅。
 矩形(長方形)本体の堅さをバルコニーや玄関ポーチの庇の曲面、一部のピロティなどでカバーしている。
 正面玄関の左右に花壇、南と東に駐車場(100%)を配している。
 奥行深く、広い玄関ホールは、ガラス越しの花壇と壁面の天気予報パネルが目をはく。各階の住戸を2戸と1戸に分離し、その間の吹抜部にアールをつけた階段を突出させ、住戸の距離と空間のゆとりを感じさせている。
 住戸は全て3LDK(72.27m²~80.48m²)でゆとりがあり、各居室とも外光に接している。
 コンクリートスラブの上に配管防水用ピットをとっている工夫も評価しうる。家賃も概ね妥当である。



- 所在地: 鶴見区今津北1丁目
- 事業者: 小林敦義
- 設計者: (株)小林恵一建築設計事務所
- 施工者: (株)水間組

16



桜宮リバーシティ ウォータータワープラザ (分譲)

建設省の「HOPE計画」の一環として、「都市居住の魅力を生み出す集合住宅」を目指して、淀川貨物駅跡地の一部を対象に大阪市、大阪市住宅供給公社、住宅・都市整備公団の主催で、昭和61年末に実施した開発設計競技によるリバーシティの一面に建築されたものである。
 建ぺい率36.2%と地下駐車場によって広い公開空地を確保し、豊かな緑・水・広場などで、隣接する大川・桜之宮公園との連続性・一体性に成功している。
 ウォータータワープラザは、わが国初めての鉄筋コンクリート造ダブルチューブ構造の集合住宅であり、単調な巨大さからくる圧迫感を避けるため、色彩・形状の変化に工夫している。
 住戸(304戸)は、1~4LDK(平均104m²/戸)で、多様なニーズに対応して、41プラン、87タイプを実現し、インテリアにも変化をつけ、オール電化でコ・ジェネレーションシステムによる地域熱供給をしている。
 共用空間はラウンジロビー(1階)、スカイロビー(20階)、ビューロビー(40階)、ビュースクウェア(41階)、集会室、トランクルーム、プレイロットと充実している。さらに、別棟に店舗、音楽ホール、プールなどが併存している。
 21世紀に向けた都市居住の提案として、一段と質の高いものである。



- 所在地: 都島区中野町5丁目
- 事業者: 松下興産(株)、近鉄不動産(株)、(株)大林組
- 設計者: (株)大林組
- 施工者: (株)大林組

17



ドムール平野南 (分譲)

どうもろこしの様に曲面のバルコニーが並ぶ、円筒形の鉄骨鉄筋コンクリート造15階建て分譲集合住宅。
 総合設計制度により公開空地が広くとられ(敷地の43%)、西側に車路をとり、一般道路沿いの三面を緑化している。特に南側の前庭は緑も濃く、プレイロットや砂場、特に植込沿いのベンチ配置は巧みである。
 玄関ホールは吹き抜けで明るく、広い。
 各階の住戸は東・南向けにカギ型に配置され、タイプは5つでほとんどがゆとりのある3LDK(66.3m²~109.3m²)、各室は採光充分でどの室にもバルコニーがある。
 全体的に水準が高い。



- 所在地: 平野区平野南2丁目
- 事業者: 財形住宅(株)
- 設計者: (株)伊東建築設計事務所
- 施工者: 大末建設(株)

18

■用語解説

ダブルチューブ構造

「ダブルチューブ構造」とは、「チューブ・イン・チューブ」とも呼ばれ、中央吹き抜け側の柱列と、バルコニー側の柱列で地震力を負担する構造。

この工法の採用により、柱・梁の少ない室内ができるとともに、剛性の高い鉄筋コンクリート造で超高層を建設することが可能になり、地震時・強風時にも揺れの少ない建物となった。

コ・ジェネレーションシステム

自家発電設備を持つ建物で、発電機から発生する熱を回収して、セントラル暖房や給湯システムなどに利用する。

エネルギーの利用効率の向上を図る電気と熱のシステム。